

2023年3月10日

東急不動産ホールディングス株式会社

GPIF の国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に選定 「改善度の高い統合報告書」含め 2018 年度から 5 年連続選定

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：西川 弘典、以下「当社」）は、2022年8月に開示した「2022 統合報告書 WE ARE GREEN REPORT」が、年金積立金管理運用独立行政法人（以下、「GPIF」）の国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」（※）に選定されましたので、お知らせいたします。



2022年度の「優れた統合報告書」は国内延べ67社、当社はその中の1社に選定され、また「改善度の高い統合報告書」は同95社が選定されております。

当社は、2010年度から社会・環境レポート（2011年度からCSRレポート）を発行、統合報告書としては2016年度から発行しており、本年度で7回目の開示となります。ステークホルダーの皆さまと建設的な対話を築くべく、当社グループが事業活動を通じて社会課題の解決を図り、独自性のあるビジネスモデルを創造しながら、持続的な社会づくりと企業成長をめざす価値創造ストーリーを展開して参りました。そして、2022年度は、前年度に発表した長期ビジョンの実現に向けたスローガン「WE ARE GREEN」を冠した名称で、当社グループのありたい姿「価値を創造し続ける企業グループへ」の実現に向けた中期経営計画や、全社方針「環境経営」「DX」等について、戦略や指標・目標、実績を取り組みとともに分かりやすくお伝えしております。

[2022 統合報告書 WE ARE GREEN REPORT（統合報告書WEBへのリンク）](#)

また、当社の統合報告書は、2018年度に「優れた統合報告書」に選定されて以降、「改善度の高い統合報告書」を含め5年連続して選定されており、長期的な視点で、ESG投資を重視する世界最大級の機関投資家の運用機関から、当社の持続可能な成長戦略や企業価値向上に向けた方針・取組みの開示が評価されていると考えております。

- ・2018年度「優れた統合報告書」選定（67社）カッコ内は延べ選定企業数
- ・2019年度「優れた統合報告書」選定（71社）
- ・2020年度「改善度の高い統合報告書」選定（94社）
- ・2021年度「改善度の高い統合報告書」選定（100社）
- ・2022年度「優れた統合報告書」選定（67社）

当社は、今後もありたい姿の実現に向け、財務・非財務の統合した取り組みと分かりやすい開示を推進し、統合報告書のさらなる内容の充実や、ステークホルダーの皆さまとの対話に努め、企業価値の向上を目指して参ります。

(※) GPIFが国内株式の運用を委託している運用機関に対して、「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」の選定を依頼し、各機関がそれぞれ最大10社を選出した上、選定されています。

([20230222_integration_report.pdf \(gpif.go.jp\)](https://www.gpif.go.jp/20230222_integration_report.pdf))

■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」で目指す、「環境経営」と「DX」の取り組み

東急不動産ホールディングスは、2021年に長期ビジョンを発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現し、価値を創造し続ける企業グループをめざします。また、2022年5月には長期ビジョンに基づき「中期経営計画 2025」を策定、「環境経営」「DX」を通じた独自性のある価値創出を図ってまいります。

東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2025」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan>